

5.15 沖縄平和行進参加報告書

東北地方小名浜支部 青年部長 矢内 誠也

5月12日から16日まで沖縄平和行進へ参加をしてきました。私自身、何回目の沖縄になるのか数え切れないほどの参加になりますが、今回は例年と違うことが多くある平和行進でした。

まずは沖縄県が本土復帰50年という節目の年に参加出来たこと、大変誇りに思います。しかし、50年経った今の沖縄にはまだまだ基地が残った状態で沖縄県民が願う「基地のない沖縄」には程遠いのが現状です。

私たちは本土へ戻りますが、沖縄県民、沖縄地本の仲間への寄り添う気持ち、想いを絶やすことは絶対にないと改めて思いました。

また例年と違うもう1つの点は、コロナ禍の中での開催になったことです。感染者が高止まりの中、開催を判断することは迷い苦しんだと思います。沖縄地本には対策をとった中での受け入れ、開催をしていただき本当にありがとうございます。

東北としてそして支部方針として、懇親会や外出はしないと決めて参加をしましたが、弁当の手配など多くの面倒をおかけしてしまい、大変申し訳ありませんでした。おかげで感染者を出すことなく、平和行進を終わることができました。本当にありがとうございました。

来年にはコロナウイルスの状況も改善され、沖縄平和行進の本来の姿、3日間の行進、そして仲間と共に島酒を飲み交わせることを祈り、また次回の参加を目指したいと思いません。